

# 「どんど焼き」で左義長がファイナーレ

## 14のご神体が夜空を焼く



松明に火を移し神明神社を出発

**どんど焼き会場へ  
神火を送る  
「御神火送り」**

2月24日に、弁天緑地でどんど焼きが行われました。「御神火送り」で会場に届いた神明社の神火は、午後8時の狼煙を合図に、一斉にご神体に点火され、燃え上がる炎があたりを赤く照らし出しました。

文化8年(1811)1月15日の史料に「早朝明七ツ時二左義長はやし二参」とある。現在の時間では午前4時頃に燃やした始めたこととなる。袋田区が明治16年(1883)に勝山分署に出した「竹木焼捨届」には、2月26日「午前二時当町鎮火祭」に用いた神物類を、尊光寺の下方の「字又川」下河原で焼きたい旨を願ひ出ている。どんど焼きの場所については先の江戸時代の史料に、上(郡町)は十王堂(現閻魔堂)で、下(袋田町)は多田川辺とある。又(多田)川は大用水の支流で勝山郵便局の西側を流れる川である。時間、場所ともに時代とともに変化してきている。



船橋左義長の様子

勝山で左義長の開始を告げるのは一番太鼓である。他地域のどんど焼き開始の例では、片山区(現福井市)では「左義長はやす」と連呼。黒龍神社(福井市船橋町)境内で現在も行われる左義長では、太鼓を鳴らし「はやす」と町内に知らせ、午前6時の点火の直前にも「はやす」と告げる。

「はやす」と言つ言葉は色んな意味合いを含んでいるようである。先の文化の史料にもあったようにこの「はやす」は燃やすという意味である。「囃す」と漢字で書く史料もある。「勝山左義長ばやし」といった場合の「はやし」はまさに囃すの意味で、手を打ち声出し歌舞の調子をとる、笛や太鼓で囃すと言つ意味で使われている。

「はやす(生す)」は「正月の松の木を切る」「神に供えた餅を切る」に由来する言葉と思われる。切るとい言葉を含み逆に「生す」と言つたのである。そして次第に正月の飾り物を燃やすことを「はやす」と言つようになったと考えられる。

### ふもとを訪ねて

地域文化を掘り起こそう

市史編纂室 山田 雄造

今年の勝山左義長は天候に恵まれ、どんど焼き会場は多くの見物客であふれていました。どんど焼きが始まると、竹の爆ぜる音が響き炎は空高く舞い上がり、その壮観に寒さを忘れしました。今回はそのどんど焼きを紹介します。



作り物 (芳野区)

「みんなの力で獲られた。イノシシとしてみてもらえるか心配だったが伝わってよかった。表現したものが伝わるか。そこに難しさがある。」  
松井 東さん(68) = 芳野町1 =



子どもばやし (沢区)

## 各コンクール 勝山市長賞の紹介

それぞれ代表の方にコメントをいただきました



行燈 (上袋田区)

「句に合わせた絵を描くことが大変だった。名誉なことです。」  
松田 憲之さん(72) = 本町3 =

「公民館で夜遅くまで練習を頑張ったかいがあった。本番はとても緊張したが、今までで一番良かった。」  
北川 夢来さん(成器西小6) = 沢町1 =

### 各コンクールの結果一覧

地区名	第66回作り物コンクール	第35回行燈コンクール	第49回子どもばやしコンクール
下長洲区	奨励賞	奨励賞	勝山商工会議所会頭賞
富田区	奨励賞	勝山地区区長会長賞	
芳野区	勝山市長賞	勝山市議会議長賞	勝山市議会議長賞
沢区	勝山商工会議所会頭賞	中日新聞社賞	勝山市長賞
元町2丁目区	奨励賞	奨励賞	
立川区	勝山左義長まつり実行委員会委員長賞	奨励賞	勝山市観光まちづくり株式会社賞
上郡区	福井テレビ賞	勝山左義長まつり実行委員会委員長賞	勝山左義長ばやし保存会長賞
上後区	奨励賞	勝山市観光まちづくり株式会社賞	福井新聞社賞
中後区	奨励賞	奨励賞	福井テレビ賞
上袋田区	勝山地区区長会長賞	勝山市長賞	勝山市子ども会育成連絡協議会長賞
下袋田区	奨励賞	奨励賞	
下後区	福井新聞社賞	奨励賞	勝山地区区長会長賞

ボランティアの声

「地域で生活し、お世話になっているので参加した。いろんな企業で地域を盛り上げられたらと思う。これを機会に企業ボランティアの輪が広がると良い。」

JCHO福井勝山総合病院  
尾石紀之事務長(59)



地域に貢献  
企業・学生ボランティア

今年は、15社・2校に2か所でごみの分別などにご協力いただきました。

参加企業・学校紹介(順不同)  
K2アドバンスト(株)、松文産業(株)、(株)野田電機、大阪特殊合金(株)、北陸労働金庫、(株)福井銀行、(株)マツイ印刷、JCHO福井勝山総合病院、マイランEPD(株)、(株)福邦銀行、越前信用金庫、(株)フクタク、(株)北陸銀行、ケイター・テクノ(株)、(株)ニットク、勝山北部中学校、勝山中部中学校